

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/03/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

一時130ドル突破も、利食い売りで急反落

NY原油先物相場は、1バレル=130.50ドルまで急伸した後、109ドル前半まで急反落する荒れた展開になった。ウクライナの戦闘状態は続いており、ロシア産原油の供給減少が警戒される中、2008年7月以来の高値を更新している。ただ、過熱感から利食い売りを進める動きも強く、週末にかけて急反落する荒れた展開になった。1週間の値幅は26.87ドルに達し、2週連続で20ドルを超えている。

既にロシアは国際決済ネットワークSWIFTから排除されているが、米政府は石油、天然ガス、石炭の禁輸措置も打ち出した。ただ、欧州は直ちにロシア産の禁輸措置で協調することを見送ったこと、米政府が国内での増産を呼び掛けていること、国際エネルギー機関 (IEA) が追加備蓄放出の議論を行っていることもあり、短期筋の利食い売りが上値を抑え、高値からは急落地合が形成されている。前週比では6.35ドル安となり、3週間ぶりに下落した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (3月4日時点) は、原油が前週比186万バレル減、ガソリンが141万バレル減、石油精製品が523万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

高値波乱の展開が続き易い、ウクライナ危機で不安定さが増す

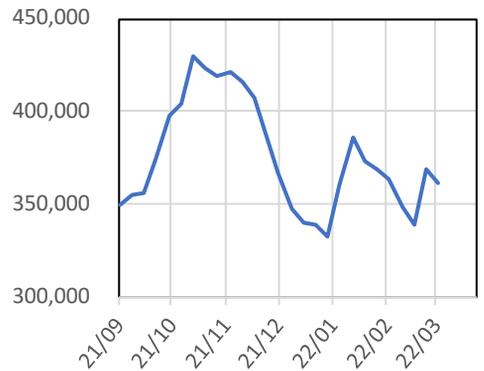
ウクライナ情勢に左右される展開が続く。2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻してから2週間半が経過しているが、依然として激しい戦闘が続いている。停戦協議も繰り返し行われているが、ウクライナとロシアとの主張の隔たりは大きい。戦闘状態が長期化すると、各国の対ロシア制裁の動きが強化され、ロシア産の供給不安が原油相場を押し上げる展開が続く見通し。改めて130ドル台乗せを打診する可能性も十分にある。

米政府はロシア産原油の禁輸措置に踏み切った。欧州連合（EU）は、ロシア産原油の依存度の高さから禁輸措置は見送ったが、2027年までにロシア産エネルギーへの依存から脱却する方針を示している。今後は段階的にロシアからの輸入削減を進めることになり、国際原油需給のかく乱要因になり得る。割安感の強いロシア産原油については、中国やインドの買い付けが行われている模様だが、経済制裁の影響で輸送が可能かは不透明感が強い。

米政府はロシア産原油の禁輸措置への対応として、国内の石油会社と金融機関に対して、増産を呼び掛けている。また、経済制裁を行っていることで産油量が大幅に落ち込んでいるベネズエラに対する制裁解除・緩和の議論も活発化している。ロシア産の代替供給を増やす見通しが強まると、調整リスクが高まる。

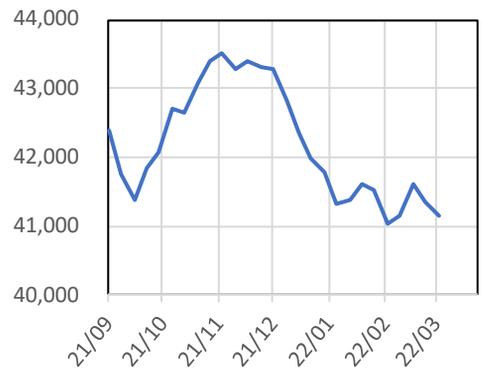
イラン核協議は難航している。当初は2月中にも合意が可能とみられていたが、ロシアがウクライナ情勢を受けての経済制裁と関係なくイランとの取引継続を要求するなど、協議が難航している。協議決裂になると、イラン産原油の増産期待が後退するのみならず、イラン核武装の脅威が浮上する。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



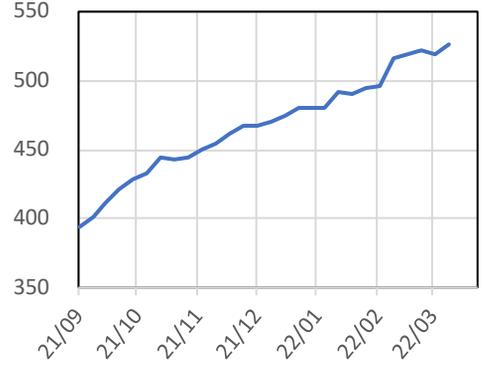
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

